

コンベンションぬまづ及びキラメッセぬまづの指定管理業務評価結果について

平成 27 年 11 月 12 日

静岡県文化・観光部観光政策課
沼津市産業振興部観光交流課

1 評価の趣旨

静岡県及び沼津市では、指定管理者制度を導入した静岡県会議場施設「コンベンションぬまづ」及び沼津市多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」における指定管理者の管理運営状況について、学識経験者やコンベンション業界及びMICE誘致に関し識見を有する者等からなるプラサヴェルデ評価懇話会委員による第三者の視点から評価を実施した。

平成 26 年度事業の評価結果については以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理

(1) 指定管理者

コングレ・コンベンション静岡グループ

代表団体 株式会社コングレ

構成団体 特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（6 年間）

3 評価項目

(1) 企画・提案に関する実績評価

- ① 「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展
- ② 公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営
- ③ 県内外からの積極的な集客
- ④ 地域資源の積極的な活用
- ⑤ 地域の人材育成と活動支援

(2) 管理運営状況に係る実績評価

- ① 施設の管理運営指標の達成度
- ② 管理・運營業務
- ③ 維持管理業務

4 プラサヴェルデ評価懇話会委員

氏名	職業・団体等	備考
中山 勝	一般財団法人企業経営研究所常務理事	座長
渡辺 厚	立教大学観光学部兼任講師	
森口 巳都留	株式会社MICEジャパン代表取締役社長	
鈴木 素子	鈴木素子税理士事務所 所長税理士	
植田 勝智	ファルマバレーセンター所長	
委員計 5 名		

5 評価結果

(1) 項目別評価

	評価項目	評価	講評
(1) 企画・提案に関する実績評価	①「日本一使いやすい展示施設（キラメッセぬまづ）」の継承・発展	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本一使いやすい施設」を目指す指定管理者の姿勢にぶれがない点は評価できる。 ・意見箱や主催者へのアンケート調査をしている点は評価できる。継続的なアンケート実施と反映が課題であるとする。 ・施設運営のノウハウを有し、地元と MICE をつなぐ地域のコンシェルジュのような経験豊富な職員の育成を期待する。 ・サインボードが依然見つけにくい。 ・ホームページ、インターネットの活用を更に進めていただきたい。 ・会議開催に不慣れな主催者も、安心できるサービス提供の仕組みづくりを考慮していただきたい。
	②公の施設に求められる、平等利用、安全面に留意した運営	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・各種割引の導入について広くアピールしていただき、施設利用の拡大につなげてもらいたい。 ・大型催事では、主催者との情報共有と指揮命令系統の確立を望む。 ・災害発生に備え、主催者や協力会社を交えた協議・訓練も必要である。
	③県内外からの積極的な集客	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のイメージ形成につながるようなイベントの開催など、域外からの集客を実現し経済効果を実感できる具体的施策を展開して欲しい。 ・地域の発展に必要な主催者及び案件の見極めと的確なアプローチ、受け入れ体制の強化などが必要である。 ・地元にいる潜在的な「主催者」の掘り起こしが必要である。 ・ターゲットのプロファイリングと、投資適格性をアピールする仕組みづくりを考慮することが必要である。 ・誘致・開催履歴の公表もポイントである。
	④地域資源の積極的な活用	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・事前PR、チラシを充実させ、情報発信をより広域的にして欲しい。 ・取材意欲をかきたてる催事の獲得と催事のポイントを強調するアピールが望まれる。 ・B級グルメのような独自イベントの開催等、多くの人に特産品、観光PRを行うことも必要である。
	⑤地域の人材育成と活動支援	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン生について、今後は専門学校も視野に入れて多くの生徒・学生に興味を持っていただくことを期待する。 ・市民ギャラリーの稼働率を高める工夫をお願いする。

評価項目		評価	講 評
(2) 管理 運 営 状 況 に 係 る 実 績 評 価	①施設の管理運営 指標の達成度	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率向上に向けて、リピート率のアップと新規顧客獲得に向けて営業を行う具体的方策が必要である。 ・集客力、話題性のある催事獲得に向けての活動と共に、内容の分析を通じて今年度以降の集客に向けて努力を続けていただきたい。
	②管理・運営業務	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出業務の継続的な改善をお願いするとともに、トラブルに即応できる態勢についての改善もお願いしたい。 ・ホームページについては、利用者の視点に立ち、どのような情報が現在必要とされているかを検討し、管理して欲しい。 ・サイン計画見直しの必要性も感じる。
	③維持管理業務	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルどおりに実施しているが、若干、汚れが目立ってきている。日々の点検業務をこまめに実施していただきたい。 ・外壁の植栽管理について、枯死しないよう管理に注意して欲しい。

(2) 総括

項 目	評価	講 評
総括	3.7	平成 26 年度指定管理業務における実績は、「よく実施した」と判断する。

参考

評価点	評価基準
4.5～5.0	大変よく実施した
3.5～4.4	よく実施した
2.5～3.4	おおむね実施した
1.5～2.4	不十分な実施だった
1.0～1.4	実施しなかった